

感染症情報です！！

子どもに多い「咽頭結膜熱(プール熱)」の患者が2007年以降最多となっています！
(国立感染症研究所調べ)

症状

- ・発熱
- ・目の充血
- ・のどの腫れ など

全国3千の医療機関から報告された患者数は
5月29日～6月4日の1週間で1医療機関あたり0.95人。

都道府県別では

山梨県	(3.29人)	
北海道	(2.02人)	
奈良県	(1.53人)	
鹿児島県	(1.51人)	など



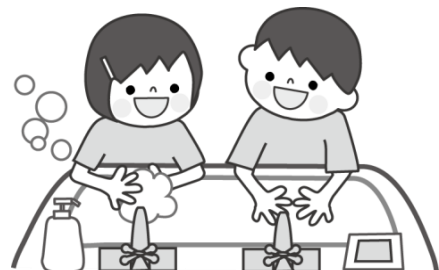
咽頭結膜熱と診断されたら、学校へお知らせ下さい。
学校感染症の中で、**出席停止の疾患**です。

感染症研究所によると、

- ・例年は6月頃から患者が増え始め、7～8月にピークを迎える。
- ・今年は5月頃から増えている。
- ・例年のウイルスとの違いは特にみられない。
- ・流行の理由ははっきりしていない。
- ・プール熱とも言われるがプールに入ったからといって感染するものではない。
(タオルの貸し借りなどで感染する。)

予防について

これからプールが始まりますが、ご家庭でも手洗いうがいをする、タオルの共有を避けるなど予防を心がけてください。



- ・手洗いうがいの励行
- ・タオルの貸し借りをしない
- ・めぐすりを使い回さない

などが有効です。



手足口病 が西日本を中心に流行拡大しています！！

症状

- ・手や足などに水疱性の発疹ができる
- ・のどの痛み、38度前後の熱ができることもある

5月29日～6月4日までの1週間の患者報告数によると
定点当たり1.34人で宮崎県と佐賀県で警報基準値を上回っている。

都道府県別では

佐賀県	(6.3人)
宮崎県	(5.17人)
香川県	(4.5人)
京都府	(3.8人)...

大分県でも2.28人
となっています！！

感染症研究所によると、

- ・水疱性の発疹を主な症状とした急性ウイルス性感染症
- ・乳幼児を中心に夏期に流行することが多い
- ・潜伏期間は3～5日
- ・口腔粘膜や手のひら、足底などの四肢の末端に2～3ミリの水疱性発疹が現れる。